



CQM (超短期経済予測モデル)

稲田義久 (APIR 数量経済分析センター長)

日本経済 (月次) 予測 (2026年2月)

内容に関するお問い合わせは下記まで
e-mail: contact@apir.or.jp

ポイント

◆ 2月及び3月初旬発表データのレビュー

▶ 今回の予測では、3月初旬までに発表されたデータを更新した(図表6参照)。また10-12月期GDP2次速報を追加した。公共工事関連を除けば、1-3月期GDP推計に必要な基礎月次データの約1/3が更新された。

▶ 3月10日発表の10-12月期GDP2次速報によれば、実質GDPは前期比年率+1.3%、2四半期ぶりのプラス成長となった。1次速報(同+0.2%)から上方修正された。

▶ 1月の生産指数は前月比+2.2%と3カ月ぶりのプラス。結果、1月は10-12月平均比+1.2%となった。経産省は生産の基調判断を「一進一退」と前月から据置いた。

▶ 1月を10-12月平均と比較すれば、総消費動向指数は+0.1%、建築工事費予定額は+1.4%、資本財出荷指数は-0.5%となった。1-3月期の実質民間需要は前期から増加の可能性が高い。

▶ 1月の輸出入動向(日銀ベース)を10-12月平均と比較すれば、実質輸出額は+8.0%大幅増加し、実質輸入額は-1.0%減少した。1月の実質財貨純輸出は実質成長率に大幅プラス寄与となったが、春節の影響を割り引くべきである。

◆ 1-3月期実質GDP成長率予測の動態

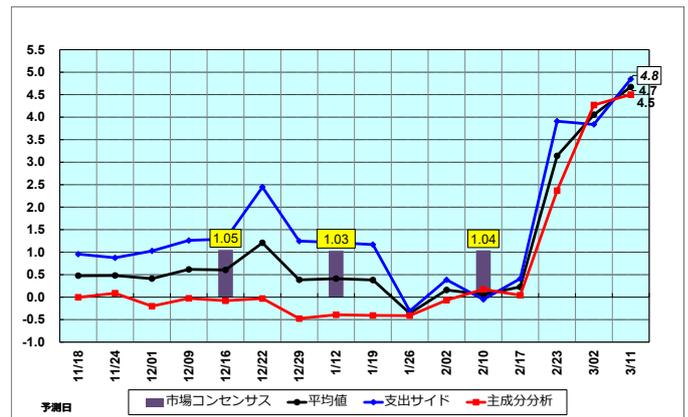
▶ 最新のデータを更新の結果、CQM(支出サイド)は、1-3月期の実質GDP成長率を前期比年率+4.8%とプラス成長を予測した。一方、生産サイド(主成分分析モデル)は、同+4.5%と予測。結果、両モデルの平均予測は同+4.7%となった(図表1参照)。CQM予測は市場コンセンサスから高めめの予測である。1月の貿易データを更新した純輸出の予測には春節の影響が出ているため、経済の実態把握には在庫変動や純輸出を除いた最終需要が適切な指標となる。

◆ 1-3月期インフレ予測の動態

▶ 1月の全国消費者物価コア指数(除く生鮮食品)は前年同月比+2.0%と53カ月連続の上昇、インフレ率は2カ月連続の2%台となった。

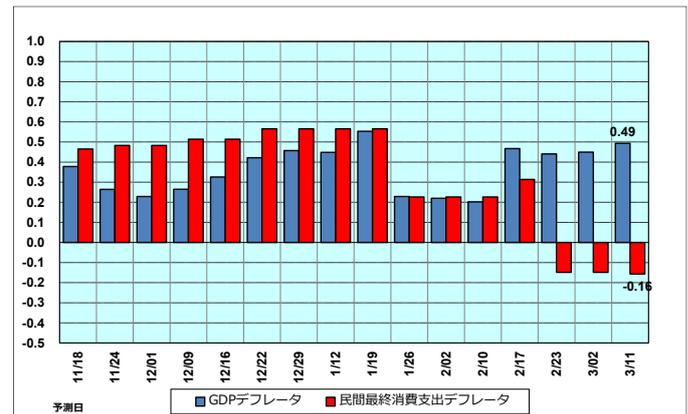
▶ 今回のCQMは、1-3月期の民間最終消費支出デフレーターを前期比-0.2%、国内需要デフレーターを同+0.2%と予測。同期の交易条件は改善するため、ヘッドライン(GDPデフレーター)インフレ率を同+0.5%と予測する(図表2参照)。

図表1 CQM予測の動態：実質GDP成長率
2026年1-3月期(%, 前期比年率)



出所：筆者作成

図表2 CQM予測の動態：インフレーション
2026年1-3月期(%, 前期比)



出所：筆者作成

本予測はペンシルバニア大学クライン名誉教授によって開発された超短期モデル(Current Quarter Model)のアイデアを日本経済に適用したものである。本予測システムでは、毎週発表されたデータの景気への影響を調べることができる。予測は支出サイド、生産サイド(主成分分析)の2つのモデルを用いて行われ、前者の予測値を主要系列とし、後者の予測値と両モデルの予測平均値を参考系列としている。

＜純輸出の予測には春節 2 月移行の影響が出ているため、経済の実態把握には純輸出を除いた最終需要が適切な指標＞

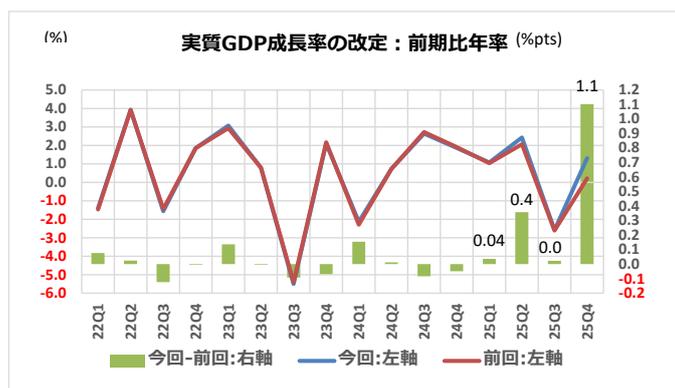
1. 10-12 月期実質 GDP2 次速報

【2 次速報と 1 次速報の比較】

3 月 10 日発表の 10-12 月期 GDP2 次速報によれば、実質 GDP は前期比+0.3%、同年率+1.3%、2 四半期ぶりのプラス成長となった。1 次速報(前期比+0.1%、同年率+0.2%)から上方修正された。

季節調整の掛け直しや基礎統計の改定により、過去値が遡及改定された。実質 GDP 成長率を 2 次速報と 1 次速報で比較すると、2025 年 1-3 月期+0.0%^印 イト(+1.0%→+1.1%)、4-6 月期+0.4%^印 イト(+2.1%→+2.4%)、7-9 月期+0.0%^印 イト(-2.6%→-2.6%)、10-12 月期+1.1%^印 イト(+0.2%→+1.3%)、いずれも上方修正された(図表 3 参照)。このため、2025 年の成長率は+1.2%と 1 次速報(+1.1%)から上方修正された。

図表 3 実質 GDP 成長率の改定



出所：筆者作成

2 次速報の GDP 項目(図表 4)をみれば、国内需要では民間最終消費支出(前期比+0.1%→同+0.3%)、民間住宅(同+4.8%→同+4.9%)が 1 次速報から上方修正された。また法人企業統計の結果をうけ、民間企業設備(同+0.2%→同+1.3%)も上方修正された。一方、民間在庫変動(同-0.2%^印 イト→同-0.3%^印 イト)は下方修正された。また政府最終消費支出(同+0.1%→同+0.4%)や公的固定資本形成(同-1.3%→同-0.5%)も上方修正された。結果、国内需要(同 0.0%→同+0.3%)は上方修正された。

財貨・サービスの輸出(前期比-0.3%→同-0.3%)、輸入(同-0.3%→同-0.3%)ともに変化はなかったため、純輸出(前期比 0.0%^印 イト→同-0.0%^印 イト)もほぼ変化がなかった。

GDP デフレーター上昇率(前期比+0.5%→同+0.5%)は変化がなかったが、名目 GDP は上方修正された(前期比+0.6%→

同+0.9%)。

図表 4 10-12 月期実質 GDP 成長率比較：予測、1-2 次速報

2025年10-12月期	前期比: %			
	予測	1次速報	2次速報	差
国内総生産/国内総支出	0.6	0.1	0.3	0.3
民間最終消費支出	-0.3	0.1	0.3	0.2
民間住宅	5.8	4.8	4.9	0.1
民間企業設備	1.3	0.2	1.3	1.1
民間在庫変動(*)	0.0	-0.2	-0.3	-0.1
政府最終消費支出	0.1	0.1	0.4	0.2
公的固定資本形成	-1.4	-1.3	-0.5	0.8
公的在庫変動(*)	0.0	0.0	0.0	0.0
純輸出(*)	0.3	0.0	0.0	0.0
財貨・サービスの輸出	1.7	-0.3	-0.3	-0.1
財貨・サービスの輸入	0.0	-0.3	-0.3	0.0
GDPデフレーター	0.9	0.5	0.5	0.0
国内需要	0.3	0.0	0.3	0.3
民間需要	0.4	0.1	0.4	0.2
公的需要	0.0	-0.2	0.2	0.3

*印は寄与度

出所：筆者作成

2. 2 月及び 3 月初旬発表データのレビュー

今回の予測では、3 月初旬までに発表されたデータを更新した。また 10-12 月期 GDP2 次速報を追加した。公共工事関連を除けば、1-3 月期 GDP 推計に必要な基礎月次データの約 1/3 が更新された(後掲図表 6 参照)。

2-1. 生産・労働関連指標

経済産業省の鉱工業指数の動向(速報)によれば、1 月の生産指数(季節調整値：2020=100)は前月比+2.2%と 3 カ月ぶりのプラス。結果、1 月は 10-12 月平均比+1.2%となった(10-12 月期：前期比+0.8%)。経産省は 1 月の生産の基調判断を「一進一退」と前月から据置いた。

総務省によれば、1 月の完全失業率(季節調整値)は前月差+0.1%^印 イトの 2.7%となった。5 カ月ぶりの悪化。結果、1 月は 10-12 月平均差+0.1%^印 イト上昇した(10-12 月期：前期差+0.1%^印 イト)。1 月の就業者数(季節調整値)は前月差-29 万人と 5 カ月ぶりに減少した。また雇用者数(季節調整値)は同-11 万人と 2 カ月連続の減少となった。1 月を 10-12 月平均と比較すると、就業者は-28 万人(10-12 月期：前期差+17 万人)、雇用者数は-8 万人(10-12 月期：前期差+19 万人)、いずれも減少した。また 1 月の就業率(15 歳以上人口に占める就業者の割合、原系列)は 61.9%と前年同月差+0.1%^印 イト上昇した(47 カ月連続)。

厚生労働省によれば、1 月の有効求人倍率(季節調整値)は

1.18 倍、前月差-0.02 ポイントと 3 カ月ぶりに低下した。1 月は 10-12 月平均差-0.01 ポイント低下した(10-12 月期：前期差-0.02)。1 月の有効求人数は前月比-0.1%と 15 カ月連続で減少した。一方、有効求職者数は同+0.9%と 5 カ月ぶりの増加となった。求人倍率をみた労働市場は低調な動きとなっている

厚生労働省の毎月勤労統計調査(速報、調査産業計、事業所規模 5 人以上)によれば、1 月の現金給与総額は前年同月比+3.0%と 49 カ月連続のプラス。現金給与総額を消費者物価指数(持ち家の帰属家賃を除く総合)で除した実質現金給与総額は同+1.4%と 13 カ月ぶりプラスとなった。

2-2. 内需関連指標

総務省の総消費動向指数(2020 年=100、季節調整値)は、1 月に名目ベースで前月比+0.3%と 22 カ月連続の上昇。実質ベースで同+0.1%と 2 カ月ぶりの上昇となった。1 月を 10-12 月平均と比較すれば、名目総消費動向指数は+0.5%上昇、実質総消費動向指数は+0.1%小幅上昇した。経済産業省の商業動態統計(速報)によれば、1 月の小売業販売額は前年同月比+1.8%と 2 カ月ぶりの増加となった。季節調整値は前月比+4.1%と 2 カ月ぶりの増加。経産省は小売業の基調判断を前月の「一進一退」から「緩やかな上昇傾向」と上方修正した。1 月は 10-12 月平均比+2.9%増加した(10-12 月期：前期比+1.1%)。

国土交通省の建築着工統計によれば、GDP ベースの民間住宅投資をよく説明する建築工事費予定額(居住用+0.7*居住産業併用)は、1 月に前年同月比+3.8%と 2 カ月連続の増加。季節調整値(APIR 推計)は前月比+0.8%と 2 カ月連続の増加となった。結果、1 月は 10-12 月平均比+1.4%増加した(10-12 月期：前期比+7.2%)。

経済産業省の鉱工業指数の動向(速報)によれば、1 月の資本財出荷指数は前月比-0.4%と 2 カ月連続のマイナス。1 月は 10-12 月平均比-0.5%低下した(10-12 月期：前期比+4.0%)。

国土交通省の建設総合統計(出来高ベース)によれば、12 月の公共工事は前年同月比+4.5%と 19 カ月連続のプラスとなった。季節調整値(APIR 推計)は前月比+2.6%と 6 カ月ぶりの増加。結果、10-12 月期は前期比-1.8%と 2 四半期連続の減少となった(7-9 月期：前期比-0.3%)。

2-3. 物価関連指標

総務省によれば、1 月の全国消費者物価総合指数(2020 年平均=100)は前年同月比+1.5%と 53 カ月連続の上昇となった。コア指数(除く生鮮食品)は同+2.0%と 53 カ月連続の上昇だが、

インフレ率は 2 カ月連続で 2%台。コアコア指数(除く生鮮食品及びエネルギー)は同+2.6%と 46 カ月連続の上昇となった。

1 月総合指数(前年同月比+1.5%)の品目別動向をみると、エネルギーは同-5.2%と 2 カ月連続の低下。寄与度は-0.42%。うち、電気代は同-1.7%と 2 カ月連続の低下。寄与度は-0.06%。都市ガス代は同-3.7%と 2 カ月連続で低下した。寄与度は-0.04%。暫定税率廃止の影響でガソリンは同-14.6%と 3 カ月連続で低下した。寄与度は-0.32%。

非エネルギーは前年同月比+2.1%と 46 カ月連続の上昇。寄与度は+1.92%となった。うち、生鮮食品を除く食料は同+6.2%となり、55 カ月連続の上昇。インフレ率は 6 カ月連続で前月から減速した。寄与度は+1.49%。うち、米類が同+27.9%と 38 カ月の上昇だが、8 カ月連続で減速した。寄与度は+0.27%。

財・サービス分類で見れば、財は前年同月比+1.6%と 57 カ月連続の上昇となった。寄与度は+0.88%。サービスは同+1.4%と 42 カ月連続の上昇となった。寄与度は+0.62%。サービス支出関連では、宿泊料は同+6.0%と 34 カ月連続の上昇。寄与度は+0.07%。通信料は同+11.0%と 14 カ月連続の上昇。寄与度は+0.15%。

2-4. 貿易関連指標

財務省発表の貿易統計(速報)によると、1 月の貿易収支は 3 カ月ぶりの赤字となったが、春節の影響もあり、赤字幅は前年同月比-58.0%縮小した。季節調整値は 2 カ月ぶりの黒字となり、収支は前月差+5,181 億円改善した。結果、1 月の貿易収支は 10-12 月平均比+637.7%拡大した(10-12 月期：前期差+2,709 億円)。

1 月の輸出額(季節調整値)は前月比+9.9%と 2 カ月ぶりの増加。輸入額(季節調整値)は同+4.5%と 3 カ月連続の増加となった。1 月を 10-12 月平均と比較すると、輸出は+11.1%(10-12 月期：前期比+4.8%)、輸入は+7.0%(10-12 月期：前期比+1.8%)、それぞれ増加した。

実質ベース(日本銀行、季節調整値)で見れば、1 月の実質輸出額(2020 年平均=100)は前月比+8.6%と 2 カ月ぶりの増加。実質輸入額(2020 年平均=100)は同+1.1%と 2 カ月連続の増加となった。1 月を 10-12 月平均と比較すれば、実質輸出額は+8.0%増加し(10-12 月期：前期比+0.9%)、実質輸入額は-1.0%(10-12 月期：-0.9%)減少した。1 月の実質財貨純輸出は実質 GDP 成長率にプラス寄与となった。

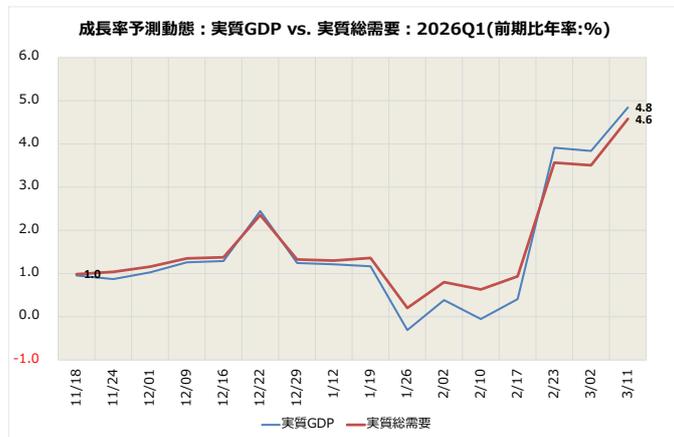
3. 1-3 月期実質 GDP 成長率予測の動態

最新のデータを更新の結果、CQM(支出サイド)は、1-3 月期の実質 GDP 成長率を前期比+1.2%、同年率+4.8%と予測。前回の予測(+3.8%)から上方修正した。

国内需要は実質 GDP 成長率に対して前期比+0.5%ポイント、純輸出は同+0.7%ポイントの寄与度となった。純輸出の寄与度が成長率を押し上げている。

一方、総需要(国内需要+輸出)ベースでは、実質総需要成長率を前期比年率+4.6%と予測した(図表 5)。また、最終需要 1(GDP-在庫変動)は同+4.1%、最終需要 2(GDP-在庫変動-純輸出)は同+1.2%と予測した。1 月の貿易データを更新した純輸出の予測には春節 2 月移行の影響が出ているため、経済の実態把握には在庫変動や純輸出を除いた最終需要が適切な指標となろう。

図表 5 成長率予測動態：実質 GDP vs. 実質総需要



出所：筆者作成

1-3 月期の国内需要を見れば、実質民間最終消費支出は前期比+0.3%増加する。実質民間住宅は同+0.9%増加、実質民間企業設備は同+0.1%増加する。実質民間在庫変動は-214 億円減少する。実質政府最終消費支出は同+0.2%増加、実質公的固定資本形成は同+0.9%増加する。実質公的在庫変動は-503 億円減少する。

財貨・サービスの実質輸出は前期比+4.8%増加、実質同輸入は同+0.8%増加する。結果、実質純輸出は+8 兆 5,845 億円となる。

なお、今回の生産サイド(主成分分析モデル)は、1-3 月期の実質 GDP 成長率を前期比年率+4.5%と予測。結果、両モデルの平均予測は同+4.7%である。なお 2 月の市場コンセンサスは同+1.04%と低めの予測である(図表 1 参照)。既にみたように経済の実態把握にはノイズの影響を受けやすい在庫変動や純輸出を除いた最終需要 2 が適切な指標となろう。実際、1-3 月期の同指標は+1.2%となっている。市場コンセンサスと違

和感はない。

4. 1-3 月期インフレ予測の動態

インフレ動態をみると、内需では、1-3 月期の民間最終消費支出デフレーターを前期比-0.2%と予測。国内需要デフレーターを同+0.2%と予測する。

外需では、財貨・サービスの輸出デフレーターを前期比+4.6%、一方、同輸入デフレーターを同+4.2%と予測する。このため交易条件は小幅改善するため、ヘッドライン(GDP デフレーター)インフレ率を同+0.5%と予測する(図表 2 参照)。

また 1-3 月期の雇用者報酬を前期比-0.6%と予測。単位労働費用は同-1.8%となる(後掲予測詳細表 2 及び 3 参照)。

図表 6 2月及び3月初旬発表の主要経済指標

3/10:

家計調査報告: (1月 2人以上世帯:消費支出)

名目: (307,584円 -1.7% 前月比 +0.7% 前年比)

実質: (-2.5% 前月比 -1.0% 前年比)

総消費動向指数: 105.7 (2020年=100: 1月 前月比 +0.1%)

消費活動指数: 99.1 (2015年=100: 1月 前月比 +0.4%)

3/09:

毎月勤労統計調査: (1月 速報、前年比)

現金給与総額: (301,314円 +3.0%)

総実労働時間: (128.3時間 -0.1%)

景気ウォッチャー調査: (2月、前月差)

現状判断 DI: (48.9 +1.3) 先行き判断 DI: (50.0 -0.1)

国際収支: (1月)

経常収支: +9,416億円(+16.6% 前月比 +1兆 2,862億円 前年差)

輸出: 9兆 445億円(+8.6% 前月比 +20.3% 前年比)

輸入: 9兆 6,448億円(+1.4% 前月比 -7.7% 前年比)

景気動向指数: (2020年=100: 1月 速報 前月差)

先行: (112.4 +2.1) 一致: (116.8 +2.5) 遅行: (110.3 -0.8)

3/04:

消費者態度指数: 40.0 (2月 前月差 +2.1)

3/03:

労働力調査: (1月)

就業者数: 6,817万人 (-29万人 前月差)

失業者数: 191万人 (+6万人 前月差)

失業率: 2.7% (+0.1% 前月差)

食料安定供給: (2月 -2億円 -137億円 前年差)

3/02:

乗用車新車販売台数: (2月 328,534台 -7.3% 前年比)

2/27:

鉱工業指数: (2020年=100: 1月 速報)

生産: 104.0 (+2.2% 前月比)

出荷: 102.2 (+3.2% 前月比) 在庫: 98.3 (+0.1% 前月比)

商業動態統計: (1月 速報)

小売業: 12兆 9,540億円 (+4.1% 前月比 +1.8% 前年比)

新設住宅着工: (1月):

住宅着工戸数: 5万 5,898戸 (-0.1% 前月比 -0.4% 前年比)

建築工事費予定額: 1兆 2,611億円 (+0.8% 前月比 +3.8% 前年比)

比)

建設工事費デフレーター: (2015年=100: 12月 前年比)

住宅: (132.7 +2.2%) 公共事業: (133.7 +2.1%)

東京都区部消費者物価指数: (2020年=100: 2月)

コア: 110.5 (-0.1% 前月比 +1.8% 前年比)

最終需要・中間需要財物価指数: (2020年=100: 1月 前年比)

資本財: (115.3 +3.3%) 消費財: (124.2 +1.8%)

2/26:

景気動向指数: (2020年=100: 12月 改訂 前月差)

先行: (111.0 +1.1) 一致: (114.3 -0.6) 遅行: (110.3 -2.2)

2/25:

企業向けサービス価格指数: (2020年=100: 1月 前年比)

総合指数: (111.9 +2.6%)

毎月勤労統計調査: (12月 確報、前年比)

現金給与総額: (632,196円 +2.4%)

総実労働時間: (134.6時間 -1.6%)

2/20:

情報サービス業売上高: 3兆 6,213億円 (12月 前年比 +6.9%)

全国消費者物価指数: (2020年=100: 1月)

コア: 112.0 (-0.1% 前月比 +2.0% 前年比)

2/19:

民間コア機械受注: 1兆 525億円 (12月 前月比 +19.1%)

2/18:

建設総合統計: (12月)

民間建築: 非居住: (9,701億円 +1.1% 前年比)

公共工事: (2兆 4,257億円 +4.5% 前年比)

貿易統計: (通関ベース: 1月)

貿易収支: -1兆 1,526億円 (+5,188億円 前月差 -58.0% 前年比)

輸出: 9兆 1,875億円 (+9.9% 前月比 +16.8% 前年比)

輸入: 10兆 3,401億円 (+4.5% 前月比 -2.5% 前年比)

2/17:

第3次産業活動指数: 104.8 (2019-20年=100: 12月 前月比 -0.5%)

2/16:

鉱工業指数: (2020年=100: 12月 確報)

生産: (101.8 -0.1% 前月比)

出荷: (99.0 -1.6% 前月比) 在庫: (98.2 +0.9% 前月比)

生産能力: (95.2 -1.8% 前年比) 稼働率: (101.3 +1.3% 前月比)

2/13:

公共工事前払金保証統計: (1月)

請負金額: (6,180億円 +9.1% 前年比)

請負件数: (8,426件 -4.3% 前年比)

2/12:

国内企業物価指数: (2020年=100: 1月)

国内企業物価: 128.4 (+0.2% 前月比 +2.3% 前年比)

輸出物価: 151.1 (+2.7% 前月比 +6.6% 前年比)

輸入物価: 166.8 (+1.7% 前月比 +0.5% 前年比)

各種公的統計から筆者作成。

図表 7 CQM(超短期)予測の動態

予測日	実質GDP			デフレーター		実質GDP			デフレーター		実質GDP			デフレーター	
	生産サイド			GDP	PCE	生産サイド			GDP	PCE	生産サイド			GDP	PCE
	支出サイド	(主成分分析 モデル)	平均			支出サイド	(主成分分析 モデル)	平均			支出サイド	(主成分分析 モデル)	平均		
	2025Q4					2026Q1					2026Q2				
前期比年率(%)			前期比(%)		前期比年率(%)			前期比(%)		前期比年率(%)			前期比(%)		
11/18	3.0	0.5	1.8	0.5	0.5	1.0	-0.0	0.5	0.4	0.5					
11/24	2.0	0.3	1.2	0.4	0.5	0.9	0.1	0.5	0.3	0.5					
12/01	2.5	1.2	1.8	0.4	0.5	1.0	-0.2	0.4	0.2	0.5					
12/08															
12/09	1.5	0.9	1.2	0.5	0.6	1.3	-0.0	0.6	0.3	0.5					
12/16	1.5	0.7	1.1	0.8	0.6	1.3	-0.1	0.6	0.3	0.5					
12/22	3.6	2.9	3.2	0.9	0.7	2.4	-0.0	1.2	0.4	0.6					
12/29	3.8	1.1	2.4	1.0	0.7	1.2	-0.5	0.4	0.5	0.6					
1/12	3.8	1.6	2.7	1.0	0.7	1.2	-0.4	0.4	0.4	0.6					
1/19	3.8	1.5	2.6	1.0	0.7	1.2	-0.4	0.4	0.6	0.6					
1/26	3.0	2.4	2.7	0.9	0.6	-0.3	-0.4	-0.4	0.2	0.2					
2/02	3.0	3.3	3.2	0.9	0.6	0.4	-0.1	0.2	0.2	0.2					
2/09	2.3	1.9	2.1	0.8	0.6	-0.1	0.2	0.1	0.2	0.2					
2/16	0.2			0.5	0.5										
2/17						0.4	0.0	0.2	0.5	0.3	0.4	1.3	0.8	-0.3	-0.2
2/23						3.9	2.4	3.1	0.4	-0.1	0.4	1.3	0.9	-0.3	-0.2
3/02						3.8	4.3	4.1	0.4	-0.1	0.1	0.5	0.3	-0.3	-0.2
3/10	1.3*			0.5*	0.5*										
3/11						4.8	4.5	4.7	0.5	-0.2	0.3	0.8	0.5	-0.3	-0.2

注：下線の数値は 1 次速報。*印の数値は 2 次速報。データの改定時に季節調整は過去に遡ってかけられるので、過去の値(季節調整値)はそのたびに変わることにご注意。

出所：筆者作成

予測詳細表 1 実質国内総生産：10 億円：2020 年連鎖価格表示

	四半期			予測		暦年		年度	
	2025Q2	2025Q3	2025Q4	2026Q1	2026Q2	2024	2025	2024	2025
国内総生産/国内総支出									
国内総支出	593,799.9	589,930.5	591,856.7	598,897.6	599,321.1	584,458.1	591,431.3	586,839.9	593,621.2
民間最終消費支出	307,956.1	309,443.3	310,319.5	311,229.5	311,601.5	304,189.9	308,757.0	305,232.1	309,737.1
民間住宅	23,167.8	21,216.2	22,253.6	22,448.4	22,387.8	23,004.4	22,433.2	23,056.7	22,271.5
民間企業設備	106,066.2	106,054.4	107,469.8	107,568.9	107,801.6	104,068.2	106,096.7	104,524.3	106,789.8
民間在庫変動	1,627.9	510.3	-1,027.0	-21.4	47.2	-555.0	617.9	92.8	272.4
政府最終消費支出	122,133.5	122,221.6	122,663.3	122,935.7	123,446.1	120,917.5	122,085.3	121,487.2	122,488.5
公的固定資本形成	27,728.8	27,362.5	27,225.9	27,480.6	27,329.4	27,593.8	27,495.3	27,686.2	27,449.4
公的在庫変動	-101.8	-27.6	-46.5	-50.3	-37.5	-91.4	-46.9	-47.0	-56.6
財貨・サービスの純輸出	5,707.9	4,314.2	4,276.2	8,584.5	8,023.2	5,765.3	4,830.1	5,356.3	5,720.7
財貨・サービスの輸出	106,990.7	105,476.7	105,109.2	110,174.2	110,497.3	102,661.0	105,604.5	103,681.4	106,937.7
財貨・サービスの輸入	101,282.8	101,162.5	100,833.0	101,589.7	102,474.1	96,895.6	100,774.6	98,325.0	101,217.0
国民総所得	620,194.1	621,955.9	620,659.3	628,425.7	628,302.6	609,723.1	619,832.5	613,181.4	622,808.8
参考									
国内総所得	586,876.1	583,746.6	585,945.6	593,371.2	592,446.3	574,735.7	585,307.3	577,468.2	587,274.5
国内需要	588,386.3	586,282.9	588,176.3	590,908.9	591,893.7	578,633.7	587,113.5	581,689.0	588,438.6
最終需要1(GDP-在庫増)	592,273.8	589,447.8	592,930.2	598,969.3	599,311.4	585,104.5	590,860.3	585,104.5	590,860.3
最終需要2(GDP-在庫増-純輸出)	586,565.9	585,133.6	588,654.0	590,384.8	591,288.2	579,339.2	586,030.2	579,339.2	586,030.2
総需要	695,082.7	691,093.0	692,689.7	700,487.3	701,795.2	681,353.7	692,205.9	685,164.9	694,838.2
	伸び率：前期比(%)、その他は注記。								
国内総支出	0.6	-0.7	0.3	1.2	0.1				
前期比年率	2.4	-2.6	1.3	4.8	0.3				
前年同期比	2.0	0.7	0.5	1.5	0.9	-0.2	1.2	0.5	1.2
民間最終消費支出	0.2	0.5	0.3	0.3	0.1				
前年同期比	1.5	1.5	1.8	1.3	1.2	-0.6	1.5	0.2	1.5
民間住宅	0.0	-8.4	4.9	0.9	-0.3				
前年同期比	1.5	-8.0	-4.1	-3.1	-3.4	-1.0	-2.5	-0.7	-3.4
民間企業設備	1.2	0.0	1.3	0.1	0.2				
前年同期比	1.9	1.1	3.0	2.6	1.6	-0.2	1.9	0.8	2.2
政府最終消費支出	0.7	0.1	0.4	0.2	0.4				
前年同期比	0.5	0.6	0.9	1.4	1.1	1.6	1.0	2.3	0.8
公的固定資本形成	0.2	-1.3	-0.5	0.9	-0.6				
前年同期比	0.7	-1.7	-1.7	-0.7	-1.4	-1.8	-0.4	0.1	-0.9
財貨・サービスの輸出	1.9	-1.4	-0.3	4.8	0.3				
前年同期比	5.7	2.0	-0.1	5.0	3.3	0.9	2.9	1.6	3.1
財貨・サービスの輸入	1.4	-0.1	-0.3	0.8	0.9				
前年同期比	4.8	1.9	3.5	1.7	1.2	0.9	4.0	3.2	2.9
国民総所得	0.6	0.3	-0.2	1.3	0.0				
前期比年率	2.4	1.1	-0.8	5.1	-0.1				
前年同期比	1.8	1.5	1.1	1.9	1.3	0.6	1.7	1.1	1.6
国内総所得	1.2	-0.5	0.4	1.3	-0.2				
前期比年率	5.0	-2.1	1.5	5.2	-0.6				
前年同期比	3.1	1.9	1.1	2.3	0.9	0.2	1.8	0.8	1.7
最終需要1(GDP-在庫増)	0.6	-0.5	0.6	1.0	0.1				
前期比年率	2.4	-1.9	2.4	4.1	0.2				
前年同期比	1.8	1.0	0.6	1.7	1.2	-0.2	1.0	0.4	1.1
最終需要2(GDP-在庫増-純輸出)	0.5	-0.2	0.6	0.3	0.2				
前期比年率	2.0	-1.0	2.4	1.2	0.6				
前年同期比	2.0	1.1	1.2	1.1	0.8	-0.2	1.2	0.6	1.1
総需要	0.7	-0.6	0.2	1.1	0.2				
前期比年率	2.9	-2.3	0.9	4.6	0.7				
前年同期比	3.0	1.8	1.0	1.5	1.0	-0.1	1.6	0.9	1.4
GDP成長率寄与度									
国内需要	0.5	-0.4	0.3	0.5	0.2	-0.2	1.5	0.8	1.2
民間需要	0.4	-0.3	0.3	0.4	0.1	-0.5	1.3	0.3	1.0
公的需要	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1	0.2	0.2	0.5	0.1
財貨・サービスの純輸出	0.1	-0.3	0.0	0.7	-0.1	0.0	-0.3	-0.3	0.0

注：実績値は内閣府『四半期別 GDP 速報 2025 年 10-12 月期(2次速報値)』、シャドーは CQM 予測値。

出所：筆者作成

予測詳細表 2 名目国内総生産：10 億円

	四半期			予測		暦年		年度	
	2025Q2	2025Q3	2025Q4	2026Q1	2026Q2	2024	2025	2024	2025
国内総生産/国内総支出									
国内総支出	665,979.8	665,724.4	671,554.9	682,909.3	681,292.3	634,226.0	663,757.3	642,391.2	671,542.1
民間最終消費支出	350,119.7	353,248.5	355,832.2	356,327.7	355,923.3	336,581.0	351,588.0	340,351.7	353,882.0
民間住宅	28,226.6	26,110.4	27,483.0	27,807.6	27,738.1	27,249.0	27,449.5	27,563.3	27,406.9
民間企業設備	122,766.9	123,961.8	126,760.2	127,888.9	129,022.4	117,611.9	123,514.2	119,182.8	125,344.5
民間在庫変動	2,706.1	331.1	-1,647.7	-286.2	-207.4	-694.3	626.0	48.7	275.8
政府最終消費支出	131,348.9	132,171.9	132,904.1	133,792.2	134,347.0	127,760.9	131,654.5	129,100.3	132,554.3
公的固定資本形成	32,702.5	32,507.6	32,567.3	32,845.8	32,776.2	31,540.3	32,524.0	32,017.9	32,655.8
公的在庫変動	-152.2	-30.4	-58.2	-70.6	-60.2	-158.4	-70.2	-76.3	-77.8
財貨・サービスの純輸出	-1,738.7	-2,576.4	-2,286.0	4,603.9	1,752.9	-5,664.4	-3,528.8	-5,797.1	-499.3
財貨・サービスの輸出	142,855.7	143,644.4	147,431.5	161,702.3	163,413.3	139,402.3	144,090.0	141,651.0	148,908.5
財貨・サービスの輸入	144,594.3	146,220.8	149,717.5	157,098.4	161,660.4	145,066.7	147,618.9	147,448.2	149,407.8
国民総所得	703,702.2	709,158.9	711,152.8	723,294.2	722,802.4	672,829.2	704,240.3	682,118.2	711,827.0
参考									
最終需要1(GDP-在庫増)	663,425.9	665,423.7	673,260.8	683,266.1	681,559.9	635,078.7	663,201.5	642,418.8	671,344.1
最終需要2(GDP-在庫増-純輸出)	665,164.6	668,000.1	675,546.8	678,662.2	679,807.0	640,743.1	666,730.3	648,215.9	671,843.4
総需要	810,574.1	811,945.2	821,272.4	840,007.7	842,952.7	779,292.7	811,376.2	789,839.4	820,949.9
雇用者報酬	322,196.2	323,940.1	327,063.5	325,093.1	326,621.5	311,662.9	323,092.8	314,173.2	324,573.2
	伸び率：前期比(%）、その他は注記。								
国内総支出	2.2	0.0	0.9	1.7	-0.2				
前期比年率	9.0	-0.2	3.5	6.9	-0.9				
前年同期比	5.4	4.2	3.9	4.8	2.3	3.0	4.7	3.7	4.5
民間最終消費支出	0.9	0.9	0.7	0.1	-0.1				
前年同期比	4.5	4.3	4.5	2.7	1.7	1.9	4.5	2.9	4.0
民間住宅	0.7	-7.5	5.3	1.2	-0.2				
前年同期比	4.2	-4.7	-0.8	-0.8	-1.7	1.7	0.7	2.6	-0.6
民間企業設備	1.7	1.0	2.3	0.9	0.9				
前年同期比	4.3	4.3	6.4	5.9	5.1	3.4	5.0	4.2	5.2
政府最終消費支出	1.0	0.6	0.6	0.7	0.4				
前年同期比	2.4	2.5	2.7	2.9	2.3	3.2	3.0	4.6	2.7
公的固定資本形成	1.1	-0.6	0.2	0.9	-0.2				
前年同期比	3.3	1.7	1.5	1.5	0.2	1.8	3.1	3.8	2.0
財貨・サービスの輸出	0.3	0.6	2.6	9.7	1.1				
前年同期比	1.8	2.1	3.3	13.5	14.4	7.5	3.4	6.8	5.1
財貨・サービスの輸入	-3.7	1.1	2.4	4.9	2.9				
前年同期比	-1.9	-0.9	3.6	4.6	11.8	4.5	1.8	6.3	1.3
国民総所得	1.5	0.8	0.3	1.7	-0.1				
前期比年率	6.3	3.1	1.1	7.0	-0.3				
前年同期比	4.7	4.5	3.9	4.4	2.7	3.3	4.7	4.0	4.4
参考									
最終需要1(GDP-在庫増)	2.0	0.3	1.2	1.5	-0.2				
前期比年率	8.2	1.2	4.8	6.1	-1.0				
前年同期比	0.0	5.2	4.0	5.0	2.7	3.0	4.4	3.6	4.5
最終需要2(GDP-在庫増-純輸出)	1.1	0.4	1.1	0.5	0.2				
前期比年率	4.3	1.7	4.6	1.9	0.7				
前年同期比	5.9	4.4	4.1	3.1	2.2	2.4	4.1	3.5	3.6
総需要	1.1	0.2	1.1	2.3	0.4				
前期比年率	4.4	0.7	4.7	9.4	1.4				
前年同期比	6.6	4.2	3.9	4.7	4.0	3.2	4.1	4.2	3.9
雇用者報酬	1.5	0.5	1.0	-0.6	0.5				
前年同期比	3.9	3.5	3.4	2.4	1.4	3.7	3.7	4.1	3.3

注：実績値は内閣府『四半期別 GDP 速報 2025 年 10-12 月期(2 次速報値)』、シャドーは CQM 予測値。

出所：筆者作成

予測詳細表3 デフレータ：2015=100

	四半期			予測		暦年		年度	
	2025Q2	2025Q3	2025Q4	2026Q1	2026Q2	2024	2025	2024	2025
国内総生産/国内総支出									
国内総支出	112.2	112.9	113.5	114.0	113.7	108.5	112.2	109.5	113.1
国内需要	113.5	114.0	114.6	114.8	114.8	110.6	113.7	111.4	114.2
民間最終消費支出	113.7	114.2	114.7	114.5	114.2	110.6	113.9	111.5	114.3
民間住宅	121.8	123.1	123.5	123.9	123.9	118.4	122.4	119.5	123.1
民間企業設備	115.8	116.9	118.0	118.9	119.7	113.1	116.5	114.0	117.4
政府最終消費支出	107.6	108.1	108.4	108.8	108.8	105.6	107.8	106.3	108.2
公的固定資本形成	117.9	118.8	119.6	119.5	119.9	114.3	118.3	115.6	119.0
財貨・サービスの輸出	133.5	136.2	140.3	146.8	147.9	135.8	136.4	136.6	139.2
財貨・サービスの輸入	142.8	144.5	148.5	154.6	157.8	149.7	146.5	150.0	147.6
ユニット・プロフィット	117.6	117.6	118.2	121.3	120.2	112.1	117.0	113.6	118.7
単位労働費用	107.0	108.3	109.0	107.0	107.5	105.1	107.7	105.4	107.7
伸び率：上段：前期比(%) 下段：前年同期比(%)									
国内総支出	1.6	0.6	0.6	0.5	-0.3				
	3.3	3.5	3.4	3.3	1.4	3.2	3.4	3.2	3.4
国内需要	0.8	0.5	0.5	0.2	0.0				
	2.6	2.8	2.6	1.9	1.2	2.6	2.8	2.8	2.5
民間最終消費支出	0.7	0.4	0.5	-0.2	-0.2				
	3.0	2.8	2.7	1.4	0.5	2.5	2.9	2.7	2.5
民間住宅	0.6	1.0	0.4	0.3	0.0				
	2.6	3.5	3.4	2.3	1.7	2.8	3.3	3.3	3.0
民間企業設備	0.5	1.0	0.9	0.8	0.7				
	2.3	3.1	3.2	3.3	3.4	3.5	3.0	3.3	3.0
政府最終消費支出	0.4	0.6	0.2	0.5	0.0				
	1.9	1.9	1.8	1.6	1.2	1.6	2.1	2.2	1.9
公的固定資本形成	0.9	0.7	0.7	-0.1	0.3				
	2.6	3.5	3.2	2.2	1.7	3.6	3.5	3.8	3.0
財貨・サービスの輸出	-1.6	2.0	3.0	4.6	0.8				
	-3.8	0.1	3.4	8.1	10.8	6.6	0.5	5.1	1.9
財貨・サービスの輸入	-5.0	1.3	2.7	4.2	2.0				
	-6.4	-2.7	0.1	2.9	10.5	3.6	-2.2	3.1	-1.6
ユニット・プロフィット	0.0	0.1	0.5	2.6	-0.9				
	0.0	4.9	3.9	5.5	2.2	2.5	4.4	2.8	4.5
単位労働費用	0.0	1.2	0.6	-1.8	0.4				
	0.0	3.1	2.8	0.9	0.4	4.0	2.4	3.6	2.1

注：実績値は内閣府『四半期別 GDP 速報 2025 年 10-12 月期(2 次速報値)』、シャドーは CQM 予測値。

出所：筆者作成